

<p>【イベント名】 第47回 APAN 会議 テクノロジー</p>	<p>【概要】 テクノロジーセッションでは、モバイルの遠隔医療に対する役割と影響に焦点を当て、各々の国や施設でのその開発・推進および革新について議論がなされた。台湾の Mr. Hsu、マレーシアの Prof. Vickneswaran、キルギスの Ms. Arianna が発表を行った。多くの事案が議論され互いに共有することができた。その結果、この1時間に及ぶセッションは非常に有意義なものとなった。</p>
<p>【期日】 2019.02.19</p>	
<p>【会場】 テジョン コンベンションセンター (韓国), マラヤ大学 (マレーシア), 萬芳医院 (台湾), 九州大学病院 (日本), 国家実験研究院 (台湾), (台湾), NASATI オフィス (ベトナム), 清華大学 (中国), 中央アジア研究教育ネットワーク (キルギス), チョーライ病院 (ベトナム), パタン健康科学専門学校 (ネパール)</p>	



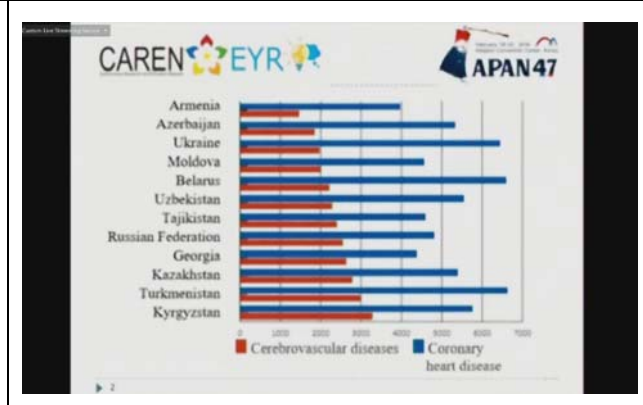
座長の Mr Chiang (左) と Mr. Zahir (右)。  
撮影場所：テジョン コンベンションセンター



モニタに映し出される接続施設。  
撮影場所：九州大学病院



Mr. Hou から提示されたスライド。  
撮影場所：テジョン コンベンションセンター



Ms. Arianna から提示されたスライド。  
撮影場所：九州大学病院



マラヤ大学から参加する Prof Vickneswaran (右)。  
撮影場所：テジョン コンベンションセンター



メイン会場イベントをサポートするエンジニアたち。  
撮影場所：テジョン コンベンションセンター